

教育センター ニュース



教育支援課
マスコットキャラクター
しえん君



四日市市教育委員会 教育支援課 〒510-0085 四日市市諏訪町2-2(四日市市総合会館6階)
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280

ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

教育行政に対する思い

教育長 田代 和典

昨年、11月20日付けで、図らずも教育長に就任することとなりましたが、前水越教育長と同様に引き続きよろしくお願いいたします。

今日、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中で、新たな学習指導要領において教育内容の改善の方向性が示されるなど、教育改革が大きく進められてきています。本市においても、総合計画と整合を図り策定された第2次学校教育ビジョンが、本年度より実施されており、その基本理念である「生きる力」「共に生きる力」をはぐくみ、めざす子どもの姿「輝くよっかいちの子ども」を目指しています。

少子高齢化が進む中で、経済の停滞・縮小なども懸念される一方、経済・社会・生活のあらゆる場面の情報化・グローバル化が進

んでいます。この社会情勢の変化に的確に対応し、次代を担う子どもたちの健やかな成長と確かな学力の向上を図ることが必要であり、さらに、いじめや差別のない誰もが安心して過ごせる学校づくりが基盤となることには変わりありません。また、これまで以上に保護者・地域へも積極的に情報発信し、地域で子どもを見守る体制づくりを進め、社会全体で学校の教育力を高めていくことも重要であると考えます。

そのためには、教育関係者とはもとより、市議会をはじめ、市民の方々のご意見をお聞きしながら総合的に判断して、今後の教育行政を推進し、「教育のまちよっかいち」の実現に向けた取組を進めてまいりたいと考えています。

また、学校施設や社会教育・スポーツ施設等の整備及びその運

営に関しても重要な課題であり、計画的にその整備に努めてまいります。

今日、本市の教育を取り巻く状況は、学校統廃合を含めた学校規模適正化や中学校新設などの重要課題が山積しています。これまでに長年にわたり携わってきた行政各分野における知識や経験を最大限活かして、市長部局と連携、調整を図りながら、更なる自己研鑽に努め、それらの諸課題を一つ一つ解決していくために、全力で取り組んでまいります。



心の健康 ストレスをぶっ飛ばせ！

YESnet 出前授業

「ストレスって、からだに悪いことばかりじゃないんだね！自分を成長させるものでもあるんだ！」

「ストレスを自分なりの方法で発散していくことが大事なんだね」

「ストレスが大きすぎて、自分でどうしようもなくなったら、誰かに相談することが大切なんだね」
(授業を受けた生徒の感想より)

今年度、YESnet では、要望のあった中学校に出向いて**ストレスケア**の授業を行ってきました。

ささがわ通り心・身クリニックの精神保健福祉士の宮越さんがスクリーンを使ってストレスケアについて話し、四日市市保健所の保健師の井倉さんが、**ストレス解消の方法**を伝えました。



＜出前授業を行った学校＞

橋北中学校（2・3年生）

南中学校（1・2年生）

保々中学校（全学年）

大池中学校（1・2年生）

塩浜中学校（全学年）1月24日の予定



子どもの心の健康を保つためには、子ども自身が日ごろから、自分の体や心の状態を知っておく必要があります。そして、自分なりのストレス解消法を見つけ、ストレスを受け止めたり流したりしながら、ストレスとうまく付き合っていくことが大切です。

「それでも、自分のよくない状態が長く続いたら、誰かに早めに相談しましょう」と相談場所を紹介していただきました。

YESnet 出前研修&相談

中学校内の研修会に「YESnet 出前研修&相談」としてYESnetのスタッフが出向き、講義と相談を行いました。前半は「思春期の特徴とこころの病について」の講義を行い、YESnetの活用について説明しました。後半は、インシデントプロセス法を用いた事例検討会や日ごろ気になる生徒の様子について相談する時間を持ちました。



〈出前研修&相談を行った学校〉

羽津中学校
笹川中学校



参加者の感想



生徒の中に見られる過呼吸やリストカット等に対する対処法や心構えがわかってよかった。過呼吸が精神的影響によるところが大きいことがよくわかった。



インシデントプロセス法での事例検討会は、情報共有ができ、全員が発言しやすいのでよいと思った。回数を重ねて理解を深めたい。



課題を抱える生徒に対して、教師個人の思いだけで対応するのではなく、様々な立場や見方からの考察を加えることがとても重要であり有効であると再確認できた。個々の教師で抱え込まずに、共通理解や連携することで、教師集団で対応できる組織となっていけるように、今後実践していきたい。

YESnetスタッフが先生方と共に 子どもの対応を考えます!



今年度は、YESnet ケース会議で6件の事例検討を行いました。学校ができることは何か、どの専門機関につなげたらよいかを話し合い、医療に繋がったケースもありました。現場の困り感としては、「保護者に医療を勧めるべきかどうか判断しづらい、またどういうタイミングで勧めたらよいかわからない」という声が多く見られます。そういう悩みを、保健所、ささがわ通り心・身クリニック、教育委員会とともに一緒に考えていく場がYESnet ケース会議です。まずは、教育支援課までご相談ください。

振り返りを生かそう



いよいよ3学期。次年度へ向けてまとめや振り返りを進めて行く時期です。この1年間の自分を振り返ってみましょう。

年度始めや研修終了ごとに記入してきた「個人年間取組計画と評価」を使って、自己評価し、次年度へつなげましょう！

★ 2つの観点から1年間の振り返ってみましょう！

平成23年度 個人年間取組計画と評価

赤い部分を記入します！

この欄は各年度の年次総括を記入します

年次総括に記入します

この欄は自己評価されます (記入の必須なし)

下記の2つの観点から自分の姿を振り返ります。「個人年間取組計画と評価」の赤い部分(左図)を記入して、1年間の総括をしましょう。記入した評価シートは研修で集まった資料とともに、ポートフォリオにしておくと、今後も使える財産になります。

観点1

「学び」を実践に生かしたか

校内外研修で学んだ内容を指導や職務に生かしていますか？研修をきっかけに、自分のどこを変えましたか？

研修は、自分に「できるか・できないか」ではなく、自分が実際に「やってみる」ことではじめて効果が表れます。今年度の自分の「学び」と実践を客観的に分析することは、来年度の計画にもつながっていきます。

観点2

職場で「学び合い」ができたか

2年目を迎えた若手教員研修(経験1~2年目)とミドルリーダー教員研修。若手教職員は他の教職員から学び、ベテラン教職員は自分の技術を伝え、若手教職員を育てていくことも必要です。校内外研修や実際の仕事の中で、あなたは、職場の同僚とどのような「学び合い」ができましたか？「自己相互研鑽のために」も活用して振り返りましょう。

★ 「振り返りと内省」に取り組む時間を確保しましょう！

本年度の研修総括の時期です。校内外研修の時間の中で、ぜひ「個々の振り返りと内省」の時間を設けてください。「みんなで上記取組シートに書き込む」あるいは「1年間の振り返りをグループでシェアする」「互いに評価しあう」等、じっくり考えることが大切です。PDCAのA(次年度へのアクション)が見えるような研修会を設定しましょう。それらの様子を参考にしながら、次年度の研修計画へとつなげます。